

高松市立新番丁小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

確かな学力と規範意識を身につけ、郷土高松を誇りに思い、
未来に向かってたくましく生きる子どもの育成

【本校の課題】

開校以来、全ての学年において、新体力テストの多くの項目で全国平均を下回る結果が続いている。過去3年間では、総合得点も含めた全108項目中全国平均より下回ったものは以下のようになる。平成26年度 94項目(87.0%)、平成27年度 79項目(73%)、平成28年度が80項目(74.0%)となっており、昨今憂慮されている子どもの体力・運動能力の低下が、本校にも当てはまる状況にある。

【現状】

休み時間に、固定遊具やボール遊び、鬼ごっこなどで運動場いっぱい広がって元気よく、外遊びをする子どもの姿が見られる。その反面、教室等の室内で過ごす子どもも多く、体育の授業以外で運動に親しむことのない子どもたちもあり、運動習慣という点から考えると、二極化傾向が見られる。ただ、平成27年度から導入した、スポーツテストに関して、昨年度7月の児童対象意識調査では、「大好き→60%、好き→20%」と好結果が示されている。また、子どもなりに具体的なめあてを設定しやすいクラスマッチを年4回(運動会、水泳、なわとび、ゲーム・ボール運動)行っている。

【取組み】

毎週金曜日の朝はスポーツタイムとして設定

外遊びに限らず、雨の日にも室内で体力つくりできるように様々な運動遊びを行う。20分間ではあるが、友だちと共に体を動かす楽しさを感じながら、体力の向上に結び付けていく。



固定遊具等の遊び方紹介

固定遊具や竹馬、一輪車等の遊び方が子どもたちの中で一般化されていない。思い思いの遊び方だけでなく、昇級や得点をもうけることで自分なりのめあてをもった遊びに結び付けていく



家庭と連携した家庭運動週間

放課後や休日の運動習慣を充実させるために、親子や兄弟でできる簡単な運動を多く紹介する。具体的には、体の使い方や体力(筋力、柔軟等)を中心に資料を配付し、啓発する。

運動委員会が計画する外遊び

昼休みに体づくり運動をしたり新体力テストを計測したりする。また、運動場においても遊具を使ったサーキット遊び大会を開催し、目標タイム等を設定し、意欲付けを行う。



【目標】

- 1週間の総運動時間を年2回程度調査し、年度末には当初の結果を上回るようにする。
- チャレンジタイム(業間20分休み)や昼休みを中心に外遊びを奨励することで、運動の楽しさを味わいながら、たくましい体づくりを進んで行う児童を育成する。